

令和2年度公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム事業計画

1 事業期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日

2 基本方針

静岡県内の高等教育機関（以下「大学」という。）相互の連携を深め、また、行政、産業界、非営利法人等と広範なネットワークを形成し、それぞれの特性を活かした様々な連携事業を積極的に展開する。

3 法人運営

本年度は公益社団法人6年目として、引き続き、法人の組織体制や財務管理、会議運営、情報公開など関係法令に基づいた適切な法人運営の確立と強化に努めるとともに、将来像を見据えた事業の評価や見直しの検討を行う。

(1) 会議

- ア 定時社員総会（年間1回）（必要に応じ臨時社員総会を開催）
- イ 理事会（年間3回予定：5月・10月・3月）
- ウ 学長連絡会議（年間1～2回予定）
- エ 企画運営委員会（年間3回予定：5月・10月・3月）

(2) 事務局体制

- ア 職員 計7人
【事務局長1、県派遣職員2、非常勤職員3、静岡県大学グローバル化推進プロジェクトディレクター（旧留学コーディネーター）1】
- イ 場所 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館（法人の主たる事務所）に設置
- ウ 事務室 引き続き、県から事務室を賃貸借

4 公益目的事業

本コンソーシアムの事業は、きめ細かな施策を講じるため、教育連携、共同研究、地域貢献など、8つのカテゴリに区分し、それらカテゴリごと様々な個別事業を展開していく。

主な取組として、「地域の課題解決・活性化」「産学官連携・地場産業の振興」「地域人材の育成・生涯学習環境の充実」を掲げ、個々の事業をツールとして、その実現化を目指し、地域社会の発展に寄与していく。

(1) 大学連携講座開催事業【事業費2,000千円（全額県補助）】 ※**2,000**千円

- ・県内大学の学術・研究成果の積極的な地域還元を図るとともに、異なる大学の研究者や学生とのコミュニケーション、大学と地域との共同の機会を創出するため、

静岡県の地域資源を活かし、静岡県の魅力発信に繋がる研究内容をテーマとした、複数の大学による講座を共同開催する。

(2) 共同研究助成事業【事業費 5,500 千円（全額県補助）】 ※**〇**5,500 千円

- ・ 県内大学の学術研究への助成を通じて、本県の大学と大学及び大学と地域の連携を促進し、大学の学術研究の向上及び地域貢献の推進を図るため、県内の大学の研究者又は研究グループが行う研究に対して助成を行う。
- ・ 本年度は、助成期間を延長し、助成対象研究のテーマを明確化する。

(3) ゼミ学生等地域貢献推進事業【事業費 5,300 千円（全額県補助）】 ※**〇**5,300 千円

- ・ 地域課題の解決方策の提言や課題解決のための実践的な研究を行う県内大学のゼミ及び県内学生により組織された団体に対する助成を行う。
- ・ 学術振興の推進に資するため、「ゼミ学生等地域貢献推進事業」の研究成果や他事業の合同発表会（ふじのくに地域・大学フォーラム）を開催する。（2月開催予定）また、併せて成果報告書を作成し、情報発信する。

(4) 短期集中単位互換授業【事業費 3,000 千円（全額県補助）】 ※**〇**3,000 千円

- ・ 対象大学は9大学。
- ・ 本県の地域資源等に関するテーマにより短期集中共同授業（フィールドワークを含む）を実施し、本県地域の特性等について、大学の正規の科目として学生へ提供し、地域に根差した人材を育成する。
- ・ 扱うテーマにより、学生の調査研究力やプレゼンテーション能力、異なる大学の学生や地域住民との交流を行う中でコミュニケーション能力の向上など、卒業後に社会で活躍するための人間的基礎力の育成を図る。
- ・ 従来からの科目「富士山」「お茶」「観光学」及び「南アルプスの自然」の開催に加え、「静岡県の産業イノベーション」（静岡産業大学開設）を新たに追加する。既存授業を他大学に開放する連携型については、「演劇論」「農林業」「しずおか」を開催し、「防災」については休止する。
- ・ 広域単位互換授業として、南大阪地域大学コンソーシアムが提供する科目を引き続き提供する。

(5) 高大連携推進事業【事業費 2,000 千円（全額県補助）】 ※**〇**2,000 千円

- ・ 高校生等に大学の学問や大学生活を知る機会を提供し、進学意欲や目的意識を高めたり、高校と大学の連携を促進したりすることを目的に、大学等の教員による高校への出張講義や大学生によるワークショップなどを行う。
- ・ 高校への出張講義は、引き続き静岡県（地域学）に関するテーマに特化して実施。また、大学生による高校への出張講座を本格実施に向け拡大する。なお、対象地域は大学がない市町を優先する。

(6) 合同FD・SD研修会事業【事業費210千円（県1/2補助）】※**〇**210千円

- ・ 大学職員の資質向上のため、合同でSD研修会を開催する。
- ・ 会員大学から希望者を募って、研修のテーマや実施方法等を議論する企画検討委員会を開催する。
- ・ 複数大学の教職員を対象としたFD・SD研修会に係る経費支援や広報を行う。
- ・ 県内大学で障害学生支援を担当する教職員で構成する関係者会を支援する形として、FD・SD研修を行う（外部資金を活用）。

(7) インターンシップ推進事業【COC+関連事業】対象は全会員校

- ・ 県内におけるインターンシッププログラムの普及拡大、質的向上を目指し、地域人材の育成及び地域産業の振興に寄与するため、インターンシップマッチング会、専門人材養成研修会、インターンシップ検索サイトの運営等を行う。
- ・ 趣旨に賛同する大学と企業等で構成された委員会（事務局：本年度より、常葉大学草薙キャンパス）により事業を推進する。

(8) 西部地域連携事業【事業負担金】

- ・ 県西部の大学と地域が相互に連携、協力して大学教育の充実や地域の学術振興を図ることを目的として、以下の事業を実施する。
 - ① 共同授業
 - ・ 西部地域の大学間連携による大学共同授業を実施する。
 - ② FD研修
 - ・ 西部地域の大学間連携による合同FD情報交換会等を実施する。
 - ・ 対象は、事業実施委員会に参画する大学と市とする。

(9) 留学生支援事業【事業負担金】

- ・ 大学をはじめとする留学生支援に関係する機関等の連携・協働を図り、留学生支援事業の実施を通じて、県内大学等の国内外における競争力の向上や多文化社会の推進、県内産業の国内外における競争力の向上を図るため、静岡PR・受入促進事業、生活支援事業、育成事業、就職支援事業、広報・情報発信事業を実施する。
- ・ 静岡県大学グローバル化推進プロジェクトディレクター（旧留学コーディネーター）のもと、事業のさらなる推進を図る。
- ・ 対象は、事業実施委員会に参画する大学及び団体とする。

(10) グローバル人材育成事業【文部科学省 トビタテ！留学JAPAN 地域人材コース】

- ・ 未来の静岡県を担うグローバル人材の育成を目指し、本県高等教育機関に在籍する日本人学生で、海外留学を希望する優秀な者に奨学金を給付し、海外留学を支援する。支援企業・参加大学・県により組織する事業実施委員会において、事業の企画・運営を行う。

(11) 国際交流事業（拡充）【事業費 9,500 千円(全額県補助)】※~~5~~5,594 千円

- ・新たに「静岡県大学グローバル化推進プロジェクト」として体制を充実させる。
- ・海外での静岡留学フェアを開催する。
- ・日本語教育機関向けの県内大学進学フェアを開催する。

(12) プラットフォーム形成推進事業 対象は全会員校

- ・文部科学省所管の補助金事業である、私立大学等改革総合支援事業「プラットフォーム形成」を推進するために、趣旨に賛同する大学で構成された委員会（事務局：静岡産業大学）により事業を行う。
- ・検討課題である、大学事務の共同実施、経済界との連携、リカレント教育、災害時に備えたBCPの策定、ICT、Eラーニングの活用等に関する検討や、経済界と学生及び本コンソーシアムとの意見交換会などを行う。

(13) ふじのくに学検討事業（自主事業）

- ・静岡県の新たな地域学「ふじのくに学」の創設に向けた検討を行う。

(14) 拠点型社会人講座事業（自主事業）

- ・生涯学習環境の充実や地域における知の拠点化を推進するため、各大学が実施する社会人向け講座のうち、駅前等の利便性の高い施設で実施する講座に対し、共催、後援、広報等の協力を行う。

(15) 広報事業（自主事業）

- ・各種事業及び県内大学に関する情報をFacebookページやTwitter、情報誌等により発信する。
- ・本コンソーシアムのHP上に会員高等教育機関代表者の本年度の抱負を掲載し、掲載情報の充実を図る。
- ・県内の大学行事・イベントや、県内の学生・教員向けの事業に対して、後援や広報等での協力を行う。

(16) 経済団体との連携強化

- ・産業界で活躍する人材の育成や教育・研究の振興、国際交流等での連携の一環として、経済団体と協力しながら、企業経営者と学生との交流会を開催する。

5 その他の事業（協力事業）

(1) グローバル人材育成研究会への参加

- ・県内大学のグローバル化支援や、留学生の受入、日本人学生の海外留学を促進することにより、地域や世界に貢献するグローバル人材の育成を図るための県主催の研究会に参加する。

(2) 静岡県教育委員会の事業への協力

- ・家庭等において主体的な学習に取り組む習慣を身に付けることができるよう、

地域の教育力を活用した学習支援「しずおか寺子屋」創出事業について、大学生の参画促進に協力する。

(3) 地域・大学連携センター機能構築（窓口機能構築）

- ・地域と大学との連携促進を図るため、地域とのネットワーク形成や情報発信・提供等を行う。また、本コンソーシアムの財政基盤の強化のため、将来的な収益事業実施に向けた検討を行う。
- ・具体的には、自治体から提示された地域課題に取り組むゼミに対する助成（ゼミ学生等地域貢献推進事業）の対象外の課題や自治体以外からの課題、大学側からの提示など様々な連携を図る。

(4) 学生組織への支援

- ・コンソーシアム事業に学生が主体的に参加できる仕組みを作り、地域に貢献する人材の育成や各教育機関の連携事業に貢献することを目的とした学生組織づくりを進める。学生のもつ発想や意欲をコンソーシアム事業に活かしていくため、学生の主体的な活動を支援する。

(参考) 2年度事業等における8事業分類表

事業カテゴリ	事業等
教育連携	<ul style="list-style-type: none"> ・短期集中単位互換事業 ・高大連携推進事業 ・西部地域連携共同授業
共同研究	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究助成事業 ・ふじのくに学検討事業
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・大学連携講座開催事業 ・ゼミ学生地域貢献推進事業 ・拠点型社会人講座事業 ・地域・大学連携センター機能構築 ・COC+への協力
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生支援事業（交流推進事業） ・国際交流事業（県の短期留学生相互交流事業協力等）
学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生支援事業（滞在サポート・就職支援事業） ・グローバル人材育成事業 ・学生組織への支援
機関交流	<ul style="list-style-type: none"> ・合同FD・SD研修会事業 ・西部地域連携FD研究
施設共有	—

情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ゼミ学生等地域貢献推進事業 (ふじのくに地域・大学フォーラム)・広報事業 (Facebook ページ、公式サイト運営等)・留学生支援事業 (広報発信事業)・西部地域連携共同広報
------	--